

2019年 詳説世界史 復習テスト

～ 第04講 ① 西洋史 § 25・26 ～

【人物問題(次の人物は誰?)】

- ①七月革命で追放されたブルボン朝のフランス国王 ②1848年2月に改革宴会を弾圧して革命の発端を作った首相
 ③二月革命後の臨時政府で労働委員長になった社会主義者 ④三月暴動でマジャール人の独立運動を指導した人物

【地図問題(革命に関する都市!)]

- ⑤Aの国がオランダから独立した際の初代の国王の名前を答えなさい。
 ⑥1848年にC・Eで暴動が起きた。この2つの都市名を書きなさい。〔完答〕
 ⑦Fの国が二月革命に乗じて、戦争を仕掛けた国の名前を書きなさい。
 ⑧Dの国の反乱をきっかけに革命の曲を作った、作曲家の名前を書きなさい。



【標準問題(次の問いに答えよ! 全て完答だぞ!)]

- ⑨次のフランス政体を年代順に並べ換えなさい。
 A:第一帝政 B:第二帝政 C:第二共和政 D:第三共和政
 E:七月王政 F:王政復古
- ⑩1848年選挙で社会主義者が大敗した背景には農民の不支持があった。
 その不支持の理由を簡潔に20字以内で書きなさい。
- ⑪次の中から七月革命の影響で起きた出来事を1つ選べ。
 A:デカブリストの乱 B:フランクフルト国民議会 C:六月暴動 D:ドイツ関税同盟
- ⑫次の中から二月革命の影響で起きた出来事を1つ選べ。
 A:カルボナリの反乱 B:ローマ共和国樹立 C:ベルギーの独立 D:第1回万国博覧会

【自由主義を実現するイギリス(正誤問題)]

- ⑬1829年にオーウェンの活躍でカトリック教徒解放法が制定された。
 ⑭アイルランド土地法案は自由党ディズレーリ内閣の時に通過した。
 ⑮アイルランドの南部6州(アルスター地方)はプロテスタントとカトリックが対立している。
 ⑯自由貿易実現のため、東インド会社貿易独占権や審査法・航海法が廃止された。
 ⑰19世紀のエリザベス女王時代の二大政党は保守党と自由党であった。
 ⑱反穀物法同盟は、19世紀前半に、アスキス・ブライトの活躍で結成された。
 ⑲第1回選挙法改正後、労働者はラッダイト運動で選挙権要求をした。
 ⑳女性に初めて選挙権が与えられた(30歳以上の婦人)のは1884年の第4回選挙法改正である。

①		②		③		④	
⑤		⑥		⑦		⑧	
⑨		⑩		⑪		⑫	
⑬		⑭		⑮		⑯	
⑰		⑱		⑲		⑳	

2019年 詳説世界史 復習テスト(解答)

～ 第04講 ① 西洋史 § 25・26 ～

【人物問題(次の人物は誰?)】

- ①七月革命で追放されたブルボン朝のフランス国王 ②1848年2月に改革宴会を弾圧して革命の発端を作った首相
 ③二月革命後の臨時政府で労働委員長になった社会主義者 ④三月暴動でマジャール人の独立運動を指導した人物

【地図問題(革命に関する都市!)]

- ⑤Aの国がオランダから独立した際の初代の国王の名前を答えなさい。
 ⑥1848年にC・Eで暴動が起きた。この2つの都市名を書きなさい。〔完答〕
 ⑦Fの国が二月革命に乗じて、戦争を仕掛けた国の名前を書きなさい。
 ⑧Dの国の反乱をきっかけに革命の曲を作った、作曲家の名前を書きなさい。



【標準問題(次の問いに答えよ! 全て完答だぞ!)]

- ⑨次のフランス政体を年代順に並べ換えなさい。
 A:第一帝政 B:第二帝政 C:第二共和政 D:第三共和政
 E:七月王政 F:王政復古
- ⑩1848年選挙で社会主義者が大敗した背景には農民の不支持があった。
 その不支持の理由を簡潔に20字以内で書きなさい。
- ⑪次の中から七月革命の影響で起きた出来事を1つ選べ。
 A:デカブリストの乱 B:フランクフルト国民議会 C:六月暴動 D:ドイツ関税同盟
- ⑫次の中から二月革命の影響で起きた出来事を1つ選べ。
 A:カルボナリの反乱 B:ローマ共和国樹立 C:ベルギーの独立 D:第1回万国博覧会

【自由主義を実現するイギリス(正誤問題)]

- ⑬1829年にオーウェンの活躍でカトリック教徒解放法が制定された。
 ⑭アイルランド土地法案は自由党ディズレーリ内閣の時に通過した。
 ⑮アイルランドの南部6州(アルスター地方)はプロテスタントとカトリックが対立している。
 ⑯自由貿易実現のため、東インド会社貿易独占権や審査法・航海法が廃止された。
 ⑰19世紀のエリザベス女王時代の二大政党は保守党と自由党であった。
 ⑱反穀物法同盟は、19世紀前半に、アスキス・ブライトの活躍で結成された。
 ⑲第1回選挙法改正後、労働者はラダイト運動で選挙権要求をした。
 ⑳女性に初めて選挙権が与えられた(30歳以上の婦人)のは1884年の第4回選挙法改正である。

① シャルル10世	② ギゾー	③ ルイ=ブラン	④ コシュート
⑤ レオポルド1世	⑥ C:ベルリン E:ウィーン	⑦ オーストリア	⑧ ショパン
⑨ A→F→E→C→B→D	⑩ 社会主義化により土地を失うのを恐れ保守化した	⑪ D	⑫ B
⑬ オーウェン →オコンネル	⑭ ディズレーリ →グラッドストン	⑮ 南部 → 北部	⑯ 審査法 → 穀物法
⑰ エリザベス → ヴィクトリア	⑱ アスキス → コブデン	⑲ ラダイト →チャーティスト	⑳ 1884年 →1918年